



夏の暑さが続いているようですが、木陰にいると爽やかな風が吹いてくることもあります。まだまだ暑い日が続きますが、夏ならではの経験を子どもたちと一緒に楽しんでいきたいですね！

## \*どんな時でもあなたの味方

子どもの基本的な安全感を育てるために、おとなはことばと表情と態度で「あなたはあなたであっていい。あなたはかけがえのない存在」ということを伝えることが重要だと言いました。

態度で伝えるということの一つは、「どんな時でもあなたの味方だよ。どんなことがあっても、私はあなたの親であることから逃げないよ」という姿勢を子どもに示していくことだと思っています。

たとえば、お友だちにちょっといじめられると、打ちのめされたような思いで帰ってくる子どもがいます。客観的にみると「そんなことぐらいで何よ」と思うような場合でも、子どもは、「ヤラレタ。モウ、アノ子トハ遊バナイ」と言うことがあります。そんな時、おとなは歯がゆく感じて、「何を言っているの。そんなこと言ったらだめよ。誰とでも仲良くするのよ」と説教したり、「やられたら、やり返しなさいよ」と焚きつけたりしがちです。そう言われると、子どもは自分が否定されたような気持ちになってしまいます。受け止められた感じがしないのです。「オ母サンモ、ヤッパリ僕（私）ノ味方デハナイ」「ヤッパリ、僕（私）ノコト、ワカッテクレナイ」というふうに思ってしまうのです。子どもがつらいと思っているのであれば、それが客観的にはたいしたことのように思えなくても、まず「つらかったんだね」と受けとめることが大切なのではないでしょうか。

〈略〉よく「これぐらい、やり返してこい」とけしかけることがあります。けれど、やり返すことのできる子どもは、言われる前にやり返しているでしょう。やり返すことができないからつらいのです。「やり返さないあなたは弱虫」とでも言うようにハッパをかけられると、子どもはもっとつらくなってしまいます。

あるお母さんは、いじめられたと泣いている子どもに、「お母さんに出てきて欲しいと思った時は、いつでもそう言ったらいいんだよ」と言ったそうです。本当は、こんな些細なことでも出て行きたくないと思っていたそうですが、そう言うと子どもは「ウン」と言っただけで乗り越えていったそうです。

子どもにとって、「いつでもあなたの味方なんだよ」ときちんと言葉で表現することが大事だと思います。時には、子どもが悪いことをして、他人に謝らなければならないこともあるかもしれません。そんな時でも、子どもと一緒に泥をかぶる覚悟が、おとなには必要なのではないのでしょうか。

引用文献「小学校までにつけておきたい力と学童期への見通し」丸山 美和子著

### ◎9月のさくらんぼ教室のお知らせ◎

さくらんぼ①：9月14日（木）13：00～

活動・・・つくってあそぼう

持ち物・・・はさみ・のり・マーカー

さくらんぼ②：9月28日（木）13：00～

活動・・・つくってあそぼう

持ち物・・・はさみ・のり・マーカー

### 『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費はおやつ代の100円です。（次回からおたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため）制作や、クッキングの活動の時には材料費として+100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加をご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください

（感染症対策について）

- ・参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々感染状況をみて着用をお願いする場合があります
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてききましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控えください
- ・園内の換気や消毒は引き続き続けます